



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理部長

(氏名) 渡邊 理史

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,352	△1.1	257	6.4	258	13.8	170	16.7
27年3月期第1四半期	3,389	13.3	242	19.5	227	6.3	145	11.1

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 175百万円 (18.6%) 27年3月期第1四半期 147百万円 (11.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.94	—
27年3月期第1四半期	11.94	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	11,283	5,146	45.6
27年3月期	11,053	5,057	45.8

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 5,146百万円 27年3月期 5,057百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	5.2	500	8.4	480	5.5	300	4.1	24.56
通期	13,900	5.6	1,000	3.2	980	0.6	610	1.1	49.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	13,029,500 株	27年3月期	13,029,500 株
28年3月期1Q	815,531 株	27年3月期	815,030 株
28年3月期1Q	12,214,288 株	27年3月期1Q	12,215,979 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下「当第1四半期」という）におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策などにより、企業収益や雇用情勢の改善傾向が続き、緩やかな景気回復基調で推移しています。しかしながら、海外においては、新興国経済の減速や欧州での債務問題の展開の影響など、景気の先行きについては、依然として不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは国内外での販売力の強化に努めるとともに、製造力及び技術力の向上、様々な工程での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は前年同期比36百万円減収（1.1%減収）の3,352百万円、営業利益は同15百万円増益（6.4%増益）の257百万円、経常利益は同31百万円増益（13.8%増益）の258百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同24百万円増益（16.7%増益）の170百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

## 〔アンチモン事業〕

同事業の販売状況につきましては、家電製品向けの販売などが低調であったことから、販売数量は、前年同期比でわずかながら減少し、18トン減少（1.0%減少）の1,768トンでありました。

原料であるアンチモン地金の国際相場は、5月初旬まで上げ基調でしたが、その後は中国内需の低迷から下げ基調に転じています。当第1四半期の平均価格はトン当たり8,617ドルで、前年同期の9,602ドルに比して10.3%ダウンとなりました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は、販売単価がダウンしたことから前年同期比111百万円減収（5.7%減収）の1,843百万円となりました。セグメント利益は、同50百万円減益（57.4%減益）の37百万円となりました。

## 〔金属粉末事業〕

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、好調なスマートフォン関連需要に支えられ、堅調に推移しました。販売数量は、つくば工場の本格稼働に伴い、野田・つくば両工場の生産性の向上が寄与し、前年同期比87トン増加（54.1%増加）の248トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉につきましては、主用途である自動車部品向けが、国内の新車需要の低迷並びに輸出の減少から、軟調に推移し、販売数量は前年同期比6トン減少（1.3%減少）の448トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比82トン増加（13.3%増加）の696トンでありました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は、前年同期比74百万円増収（5.2%増収）の1,503百万円となりました。セグメント利益は、同69百万円増益（48.2%増益）の212百万円となりました。

## 〔その他〕

当第1四半期不動産賃貸事業の売上高は5百万円（前年同期比3.8%増収）、セグメント利益は5百万円（前年同期比4.5%増益）でありました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,232百万円となり、前連結会計年度末と比べ237百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び買掛金が229百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,050百万円となり前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、11,283百万円となり、前連結会計年度末と比べ230百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,404百万円となり、前連結会計年度末と比べ307百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加156百万円及び短期借入金の増加220百万円によるものであります。固定負債は1,732百万円となり前連結会計年度末に比べ166百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少154百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、6,136百万円となり、前連結会計年度末と比べ140百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,146百万円となり、前連結会計年度末と比べ89百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により170百万円増加したこと及び配当により85百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.6%（前連結会計年度末は45.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は順調に推移しており、平成27年5月15日に発表いたしました平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以降実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによって損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,380,841	2,288,253
受取手形及び売掛金	1,927,010	2,156,026
商品及び製品	1,342,062	1,441,412
仕掛品	215,462	261,981
原材料及び貯蔵品	1,028,701	966,697
その他	107,784	124,661
貸倒引当金	△6,309	△6,450
流動資産合計	6,995,551	7,232,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,184,763	1,170,982
機械装置及び運搬具(純額)	832,878	810,311
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	84,486	104,799
有形固定資産合計	3,580,719	3,564,684
無形固定資産	60,053	58,213
投資その他の資産	415,491	427,130
固定資産合計	4,056,264	4,050,027
繰延資産	1,508	1,131
資産合計	11,053,325	11,283,741

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	814,736	971,536
電子記録債務	402,099	407,067
短期借入金	1,873,500	2,093,500
未払法人税等	239,525	86,336
賞与引当金	115,149	106,333
その他	652,158	739,761
流動負債合計	4,097,169	4,404,536
固定負債		
社債	18,000	—
長期借入金	1,444,500	1,290,250
退職給付に係る負債	313,759	318,699
資産除去債務	35,220	35,333
その他	87,387	88,019
固定負債合計	1,898,868	1,732,302
負債合計	5,996,037	6,136,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	3,606,284	3,691,075
自己株式	△147,832	△148,030
株主資本合計	5,041,303	5,125,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,126	6,114
為替換算調整勘定	14,857	14,891
その他の包括利益累計額合計	15,984	21,005
純資産合計	5,057,287	5,146,902
負債純資産合計	11,053,325	11,283,741

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,389,311	3,352,671
売上原価	2,923,674	2,867,345
売上総利益	465,637	485,326
販売費及び一般管理費	223,307	227,449
営業利益	242,329	257,876
営業外収益		
受取配当金	1,841	1,587
為替差益	—	8,344
助成金収入	801	—
その他	936	2,157
営業外収益合計	3,578	12,088
営業外費用		
支払利息	9,545	7,778
為替差損	4,336	—
その他	4,662	3,411
営業外費用合計	18,544	11,189
経常利益	227,363	258,775
特別損失		
固定資産除却損	208	946
特別損失合計	208	946
税金等調整前四半期純利益	227,154	257,828
法人税、住民税及び事業税	79,011	86,506
法人税等調整額	2,278	1,029
法人税等合計	81,290	87,535
四半期純利益	145,864	170,292
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,864	170,292



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	145,864	170,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△393	4,987
為替換算調整勘定	2,329	33
その他の包括利益合計	1,936	5,021
四半期包括利益	147,800	175,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,800	175,314

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,954,236	1,429,742	3,383,978	5,332	3,389,311	—	3,389,311
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	11,054	11,054	—	11,054	△11,054	—
計	1,954,236	1,440,796	3,395,033	5,332	3,400,365	△11,054	3,389,311
セグメント利益	88,130	143,414	231,544	5,086	236,630	5,698	242,329

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額5,698千円はセグメント間取引の消去5,698千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,843,161	1,503,972	3,347,133	5,537	3,352,671	—	3,352,671
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	10,755	10,755	—	10,755	△10,755	—
計	1,843,161	1,514,727	3,357,889	5,537	3,363,427	△10,755	3,352,671
セグメント利益	37,522	212,512	250,035	5,315	255,350	2,526	257,876

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額2,526千円はセグメント間取引の消去2,526千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。